

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価 計画

学校名	鳥栖市立鳥栖小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「話し合う活動」「振り返り」を授業に取り入れ、学習の習慣化を目指した。「話し合い活動」や「振り返り」が「学び」につながったと児童は肯定的に捉えている。しかし、学習状況調査からも分かるように、「思考力・判断力・表現力」に課題が残った。 ・令和2年度よりコミュニティ・スクールとなり、地域と学校が一体となった児童の育成を目指す方策を練ってきた。「挨拶」「感謝」をキーワードにいくつかの取組を進めてきた。また、コミュニティー通信等により少しずつ、地域から認知されつつある。 ・特別の教科道徳を中心に学校教育活動を通じて児童の「心の教育」を行ってきた。議論し考える道徳授業に取り組み、道徳で学んだことを生かそうとする児童は増えた。 ・教職員個々が業務の効率化を意識しながら、業務に取り組んできた。時間外勤務時間も昨年度より減少することができた。
------------------	--

2 学校教育目標	<p>心豊かで、たくましく、自ら学ぶ”とすっ子”の育成</p> <p>○やさしさいっぱい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを考えて行動できる子 ・社会や地域に目を向け、多様性を認め、人や自然を大切にできる子 <p>○元気いっぱい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康安全に気をつけ、体を鍛えることができる子 ・よいことを進んで行い、きまりやマナーを守ることができる子 <p>○やる気いっぱい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで学ぶことができる子（学び合い、発表、学習規律、家庭学習、読書） ・予想を立て、筋道を通して考え、根気強く解決することができる子
----------	--

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> (1) 「鳥栖市教育プラン」の「鳥栖スタイル」の推進 (2) 学力向上の推進 (3) 開かれた学校づくりの推進 (4) 特別支援教育の推進
------------	--

4 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目			
評価項目	取組内容	重点取組 成果指標 (数値目標)	具体的取組
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師70%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。
	○基本的な学習習慣の定着と家庭学習の質・量の向上	○学年に応じた家庭学習時間を達成している児童の割合75%以上 ○自主学習に取り組む児童の割合80%以上	・家庭教育の手引きを発行し、家庭学習に対する意識の向上を図る。 ・発達段階に応じた自主学習に取り組ませ、主体的に学ぶ児童の育成を図る。
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートを実施し、「授業を通して自己を振り返り、今後の言動について考えることができた」児童80%以上、「考えたことを実践することができた」児童70%以上を目指す。	・全学級で年間1回以上保護者の方に道徳科の授業を公開する。(ふれあい道徳) ・学級の人間関係作りにつながる取り組みを行う。(ありがとうカード)
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていと回答した教員90%以上	・いじめの認知・覚知に対する対応マニュアルを確認・見直しを行う。 ・いじめの対応についての研修・資料提供を年間に3回以上行う。
	○教育相談の充実	○教育的配慮を要する児童に対するチーム支援を行う。 ○必要に応じてSCやSSWにつなげる。	・職員連絡会や子ども支援会議で配慮を要する児童の実態を共有し、支援の在り方について共通理解を図る。 ・子どもが話しやすい環境づくりを行い、関係機関との連携を図りながら、児童の実態に応じた支援をする。
●健康・体づくり	次の中から1つ以上を選択 ①「運動習慣の改善や定着化」 ②「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ③「安全に関する資質・能力の育成」	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒60%以上(小学校60%以上、中学校80%以上の数値で学校の実情に応じて設定) ②「健康に食事は大切である」と考える児童生徒85%以上 ③児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	①年間2回、全学年でクラスマッチを開催し、練習を通して運動時間を確保する。学級の児童全員で外遊びをする「みんなで遊ぶ日」を1週間に1回以上行うことを推奨する。 ②栄養教諭と学級担任とのTT授業を行い、食事の大切さを認識させる。給食日より食育の掲示物を通して、児童・保護者への啓発を図る。 ③登校時の指導(歩行指導、道路横断の指導の仕方を含む)や一斉下校指導、交通安全教室などを通して安全指導を行う。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・曜日毎の施設時刻の設定。(金曜日は原則として定時退勤) ・業務改善案を募り、積極的に業務の改善を図る。
	○衛生・安全管理の改善・充実	○職場の事故0を目指す。 ○メンタルヘルス不調を生まない。	・定期的に職員室等の整理整頓と環境美化の時間を設定する。 ・ラインケア、セルフケアの両面から職員のメンタルヘルス対策を行う。

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目			
評価項目	重点取組内容	重点取組 成果指標 (数値目標)	具体的取組
★小中一貫教育の充実	★◎教科「日本語」の実践充実	★保護者・地域等に対する教科「日本語」の授業公開学級率80%以上 ★保護者等に対する教科「日本語」に係る情報を年間3回以上公開した学級率80%以上	・保護者・地域等に対する教科「日本語」の授業公開を全学級で年間1回以上行う。 ・保護者等に対する教科「日本語」に係る情報(学年便り、学級通信など)を年間3回以上全学級が行う。
○特別支援教育の充実	○研修会開催 ○個に応じた支援体制 ○関係機関との連携	○特別支援に関する教員の意識・技能の向上(自己評価80%以上)を図る。 ○一人一人のニーズに合った支援を行うため、個別の支援計画を100%作製する。	・特別支援に関する研修会を学期1回以上行う。 ・個別の支援計画を前期後期に分けて、年間2回作製する。
○開かれた学校づくり	○学校運営協議会の取組の推進	○目標の設定と保護者、地域への啓発。	・学校運営協議委員との連絡を密にし、連携しながら学校運営を行う。 ・コミュニティー通信や学校HPの中で、学校運営協議会の取組を紹介する。

●…県共通 ★…鳥栖市共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
--------------------	---